

令和4年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	指導	題名	クモヘリカメムシによる斑点米被害の特徴	
[要約] クモヘリカメムシの斑点米被害は、口器を刺した跡が目立ち、その位置は縫合部付近が多い。また玄米内部まで加害が見られ、被害部位は白く粉状に変色する。				
キーワード	クモヘリカメムシ	斑点米	越冬	生産環境研究部 病理昆虫研究室

1 背景とねらい

令和元年に陸前高田市小友町においてクモヘリカメムシの発生が確認された（参考資料1、写真1）。

クモヘリカメムシは、2月上旬の日最高気温の平均が4.7℃を超える地域で越冬する可能性が高いとされている（参考資料2）が、本県でのクモヘリカメムシの発生実態は不明であった。

そこで、クモヘリカメムシによる斑点米被害の特徴と発生時期を明らかにし、指導上の参考とする。

2 成果の内容

(1) 令和3年、4年に実施した現地調査において、クモヘリカメムシによる斑点米被害が確認され（表1）、その被害の特徴は以下のとおりである（写真2）。

ア 被害は比較的鮮明で、周縁部は黒く縁取られる。

イ 被害部に口器を刺した跡（赤矢印）が目立ち、その位置は縫合部付近が多い。

ウ 玄米内部までの加害が見られ、被害部は白く粉状に変色し、変形する。

(2) クモヘリカメムシの発生地域は沿岸部を中心に拡大しており、越冬可能な気温を超える年次の出現回数が多い地域と概ね一致する（図1）。

(3) クモヘリカメムシ成虫は、7月下旬頃に水田周辺のエノコログサ等の出穂したイネ科雑草に飛来し、その後、水稻の出穂に合わせて水田に侵入、産卵する（図2）。

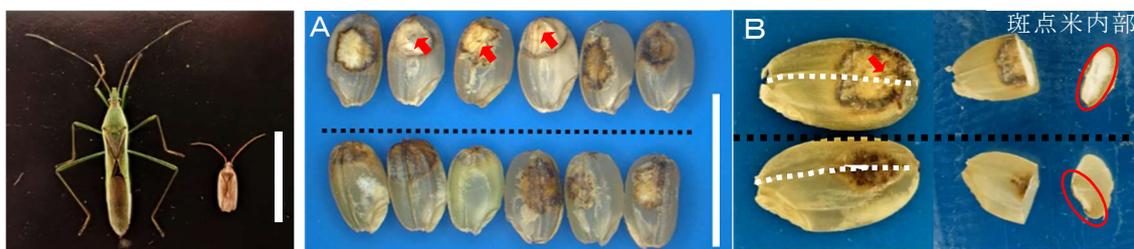


写真1 クモヘリカメムシ(左) とアカスジカスミカメ(右)

雌成虫

※図中のバーは1cm

写真2 斑点米被害の比較(上:クモヘリカメムシ、下:カスミカメムシ類)

※Aの白色バーは1cm、Bの白点線は縫合部

3 成果活用上の留意事項

(1) クモヘリカメムシが確認された地域においても、斑点米の主要加害種はカスミカメムシ類であることから、当面は、カスミカメムシ類の防除（出穂10～15日前の畦畔雑草の一斉刈り取りと穂揃期1週間後の薬剤防除）で対応する。

(2) 内陸部では、越冬可能とされる気温を超えた回数が少ないため（図1）、クモヘリカメムシが越冬している可能性は低いと考えられるが、一関市花泉町に設置したフェロモントラップにおいて、8月中旬に雄成虫の誘殺が認められたことから、県南部を中心に現地での発生には注意が必要であり、引き続き発生動向について調査予定である。

4 成果の活用方法等

(1) 適用地帯又は対象者等 県内全域 病害虫防除所職員及び農業普及員、JA 営農指導員

(2) 期待する活用効果 斑点米カメムシ類の防除指導に資する。

5 当該事項に係る試験研究課題

(402)新農薬の効果検定と防除指針作成[H9-R5/民間委託]

6 研究担当者

吉田雅紀

7 参考資料・文献

- (1) 岩手県病害虫防除所 (2019) 令和元年度病害虫発生予察情報特殊報第2号
- (2) 大江高穂・高城拓未・横堀亜弥・加進丈二 (2017) 宮城県におけるクモヘリカメムシのメッシュ農業気象データを用いた分布地域の推定. 北日本病害虫研報 68:247-252

8 試験成績の概要(具体的なデータ)

表1 斑点米被害調査結果

調査年次	斑点米被害発生地点率(%)	
	クモヘリカメムシ	カスミカメムシ類
R4	46.2	61.5
R3	28.6	85.7

【摘要】

沿岸南部の水田から、稲 30 穂を採集し、1.9 mm 目合いの篩で調製した玄米サンプルを用いた。
 サンプル採集地点は以下の通り。
 R4:大船渡市5、釜石市1、陸前高田市5、大槌町1、住田町1 計 13 地点
 R3:大船渡市6、釜石市1、陸前高田市4、大槌町2、住田町1 計 14 地点
 ※サンプルを採集した水田ではすくい取り調査は未実施。

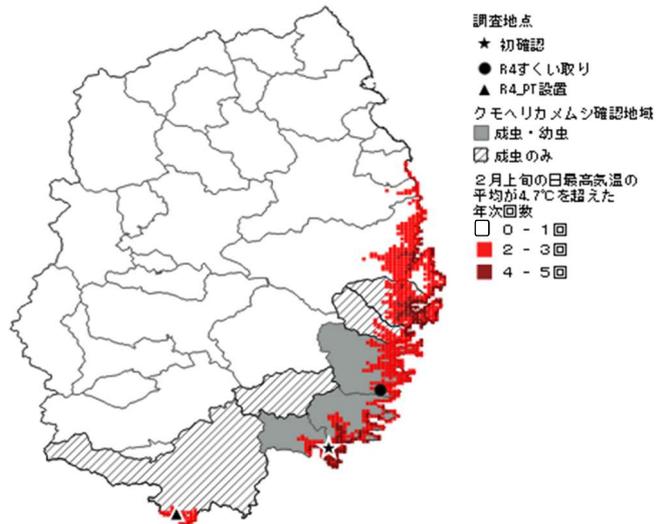


図1 クモヘリカメムシの確認状況と2月上旬の日最高気温の平均が4.7℃を超えた地域(H30~R4)

※作図には、農研機構メッシュ農業気象データ、国土数値情報(行政区域データ)(国土交通省) https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-v3_1.html を利用した。

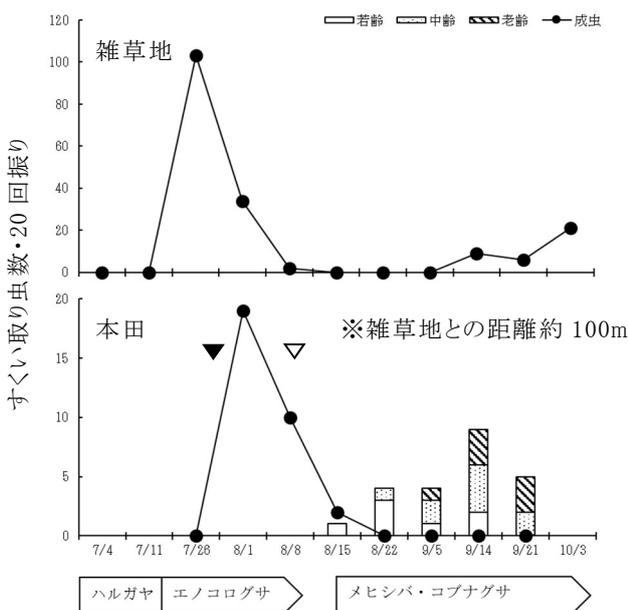


図2 釜石市唐丹町における雑草地及び本田内でのクモヘリカメムシすくい取り消長(R4)

※グラフ下部に、雑草地で出穂したイネ科雑草の種類、期間を示す。

【耕種概要等】

作付け品種:いわてっこ 出穂期(▼):7/27
 カメムシ類防除(▽):8/10(スタークル液剤)
 斑点米混入率:クモヘリカメムシ 0.08%
 カスミカメムシ類 0.05%

本田内雑草:発生無

畦畔部の主な雑草:ハルガヤ、メヒシバ

- ・本田内では、8/1、8/8、8/22、9/5 に1~2頭カスミカメムシ類がすくい取られた。

【他地域の状況】

- ・陸前高田市では、7/26 にノビエ、メヒシバが出穂した畦畔部でクモヘリカメムシ成虫がすくい取られた。
- ・その後、釜石市唐丹町同様、出穂した本田内でクモヘリカメムシ成幼虫がすくい取られ、8月8日には産卵も確認された(写真3)。



写真3 稲に産下された卵塊